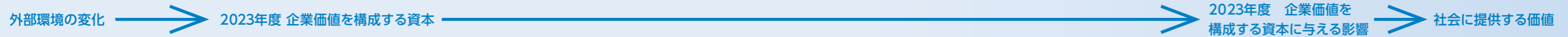


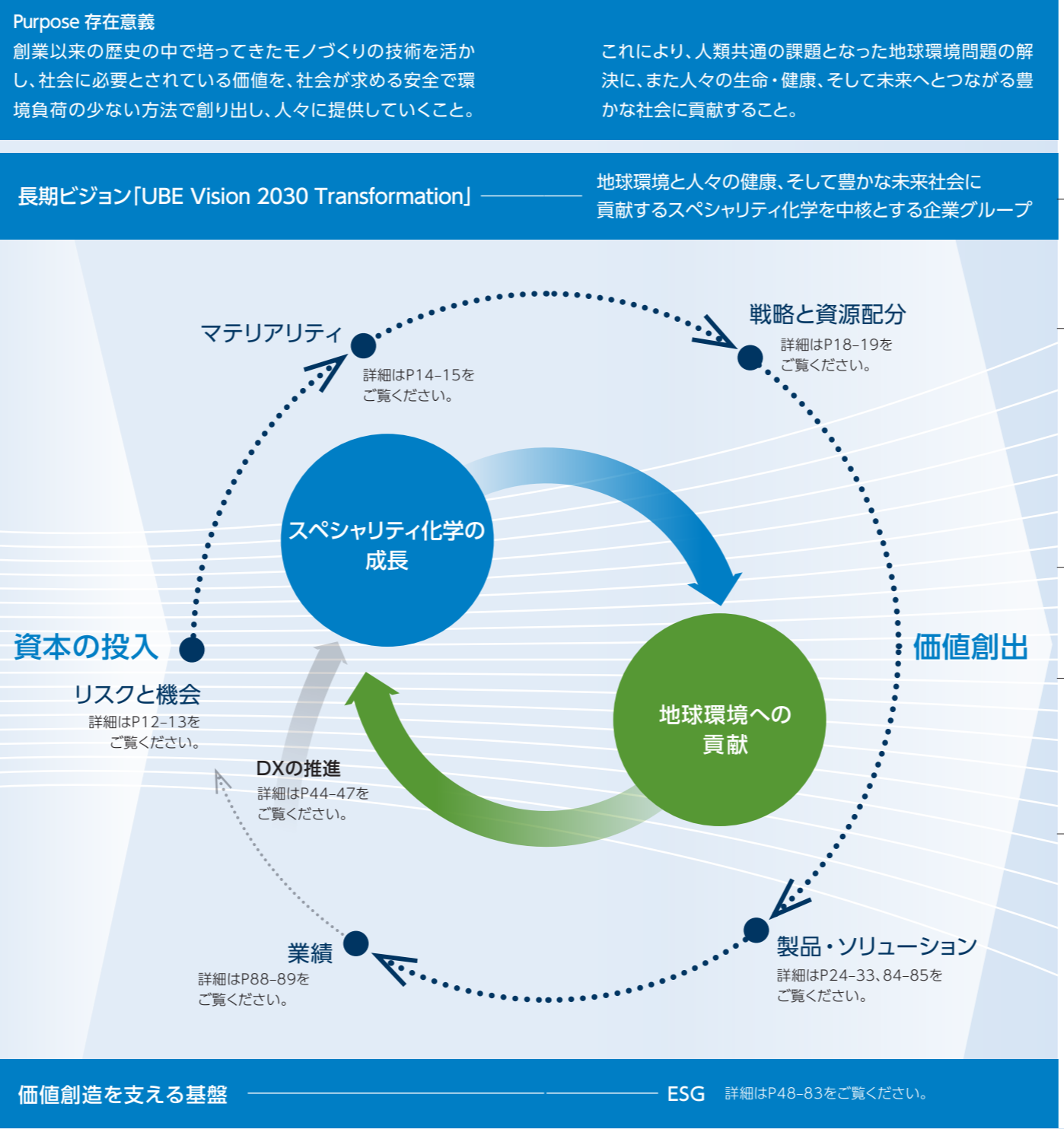
価値創造プロセス

UBEグループは、外部環境の変化に対し、そのリスクと機会の精査、マテリアリティの特定を経て、経営戦略を立案・実行しています。そして社会に対して製品やソリューションを提供することによって価値を創出するとともに、様々なリスクに対しても適切に対応していくことで、持続可能な社会の実現とUBEグループの持続的な成長を目指します。



- 国際情勢の変化**
 - 国際紛争
 - 経済安全保障政策
- 世界景気の変化**
 - アフターコロナにおける経済活動再開
 - 世界経済の成長鈍化
- カーボンニュートラルの推進**
 - 政策の変化、法規制の強化(カーボンプライシング等)
 - 再生可能エネルギー需要の高まり
 - 低GHG負荷製品需要の高まり
- 新たな環境課題**
 - ネイチャーポジティブ(生物多様性保全、水資源の保全等)
 - サークュラーエコノミー(海洋プラスチックごみ問題等)
- 働き方や価値観の多様化、人手不足、少子高齢化**
 - ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン、女性活躍
 - 働き方改革
- 新興国における人口増加**
 - 食糧、水、資源、インフラ、エネルギーの不足
- デジタルトランスフォーメーション(DX)**
 - 新しいビジネスモデル
 - 生産性向上
 - 研究開発の加速

財務資本 健全な財務基盤で企業価値向上をバックアップ 自己資本 3,616億円 ^(注) 信用格付 R&I:A- JCR:A <small>(注)2023年3月31日現在 詳細はP20-23をご覧ください。</small>
製造資本 化学製品生産の主要拠点 国内 3工場・海外 3カ国
人的資本 多様な個性と価値観を尊重 連結従業員数 8,028名 ^(注) <small>(注)2023年3月31日現在 詳細はP60-63、64-69をご覧ください。</small>
知的資本 広範な技術基盤 研究開発費 103億円 特許保有件数 2,899件 ^(注) <small>(注)2023年3月末現在 詳細はP40-43をご覧ください。</small>
社会関係資本 ステークホルダーとの結びつきを重視 アナリスト・投資家との対話 個別面談回数 約 150回 ^(甲) <small>(注)2023年度</small> レスポンシブル・ケア(RC) 地域対話 1997年 から実施 <small>詳細はP48-49、71-72、80をご覧ください。</small>
自然資本 環境負荷の低減 総エネルギー投入量: 7,504千MWh 総取水量: 414百万m³ <small>詳細はP50-57および資料編(環境安全・品質保証)をご覧ください。</small>



営業利益	225億円
親会社株主に帰属する当期純利益	290億円
フリー・キャッシュ・フロー	196億円
ROS	4.8%
ROE	7.5%
ROA	5.1%
ROIC	4.7%
特許新規登録件数	178件
環境貢献型製品・技術の連結売上高に対する割合	47%
GHG排出量	372万t-CO ₂ e/y
総排水量	385百万m ³
資源再利用、省エネルギーの実施による節約額	30億円

詳細は資料編(環境安全・品質保証)をご覧ください。

地球環境への貢献

- 自動車のxEVシフトや、軽量化による燃費向上
- 再生可能エネルギーの利用拡大
- 有害物質の削減

健康・食の安全への貢献

- フードロスの削減
- 食糧の安定供給
- 人手不足の解消
- 医療の高度化

社会のデジタル化への貢献

- ICT機器(ディスプレイ、半導体等)の高度化

